

いじめ防止強化月間（4月）における児童生徒の主体的な取組

●小学校

あいさつ運動

- ・児童会の取組として、毎朝のあいさつ運動を実施した。「あいさつをする方もされる方も、気持ちの良いあいさつの仕方」について児童会で考え、全校児童で取り組んだ。
- ・児童会で、全校児童での取組「あいさつスタンプラリー」の企画をした。
- ・児童会本部役員があいさつ週間バッジを身につけ、全校児童にあいさつの呼びかけを行った。また、あいさつ週間中は、児童会本部役員が昼の放送で、全校児童のあいさつ実施状況について、感想を述べ、さらなる意識付けを図った。

いじめ防止月間の発信・啓発

- ・児童会から4月はいじめ防止月間であることを児童会便りや児童議会で発信した。
- ・児童会を中心にいじめ防止啓発ポスターを作成、掲示し、いじめの防止の啓発を図った。
- ・児童会主催の『1年生を迎える会』において、児童会長が、あいさつの際に『いじめ防止強化月間』であることや、いじめ防止についての話をした。

話し合い

- ・児童会では、新体制となった児童会役員が中心となり、安心して過ごせる学校にするにはどうしたらよいか議論し、目標の設定等を行った。
- ・児童会本部役員が話し合い、仲間づくりの取組を考えた。「友だちのことをもっと知ろう」ということをテーマとして、友だちに質問して友だちについて深く知る企画を行った。

その他

- ・児童会が中心となり、1年生を迎える会を企画し、全校児童がふれ合うふれあいゲームを実施した。
- ・児童会より、友だちを大切にしよう、というテーマでの寸劇を全校集会で行った。
- ・児童会本部が主体となって『〇〇小学校』のやくそくを作成し、児童への配布や各教室、校内での掲示を行った。また、集会において、作成の趣旨説明を児童会本部役員が行い、その内容を全校児童で確認した。
- ・全校集会で、児童会が主体となり、「友だちのいいところ見つけ」を行った。全校でお互いのいいところを認め合い、褒め合う取組を行うことで、自尊感情を高め、いじめ防止につながった。
- ・児童会主催の全校遊びを通じて、互いに協力し合ったり、楽しんだりして仲間関係の深化を図った。

●中学校

SNSの使い方等

- ・SNSのルールについて、生徒会執行部が現状を確認する話し合いを持った。
- ・生徒会で策定したSNSのルールを、全校集会で呼びかけた。そのことをもとに、学級でSNSの有効な使い方について話し合いを持った。

あいさつ運動

- ・生徒会が主体となり、まちづくり協議会と協働して、登校時のあいさつ運動を実施した。
- ・生徒会、キャプテン等が主体となり、下校時のあいさつ運動に取り組んだ

啓発

- ・生活委員会のいじめ防止に向けた取組の提案により、各学級でいじめ防止に向けたポスターを作成し、廊下や掲示板等に掲示した。
- ・新入生入会式で、生徒会本部役員から、昨年度取り組んだ「いじめ防止行動宣言」の内容や、宣言を出すまでの取組過程を説明した。

話し合い

- ・生徒総会で「いじめが起こったとき、人権委員会はどのような活動をして対応をしてくれるのか」という質問があった。このことについて、人権委員会で協議するとともに、人権委員会から全校生徒に向けていじめの撲滅を訴えた。
- ・全学級において、生徒たちの主体的な話し合いをもとに、「仲間づくり」、「居心地の良い教室づくり」、「いじめの防止・根絶」をふまえた学級目標づくり、ルールづくりに取り組んだ。

仲間づくり

- ・生徒会による企画運営により、全校集会で仲間づくりとしてグループワークトレーニングを行った。
- ・全校生徒が交流を深めることを目的に、生徒会が中心になって、新入生を迎える会を企画・実施した。